

みずきあと 水城跡

所在地/太宰府市・大野城市・春日市
指定/特別史跡



水城跡

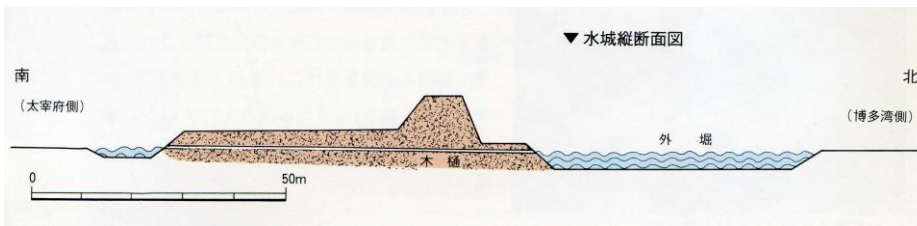
水城跡は、福岡平野の南側にあり、平野がもっともせまくなった場所をふさぐように位置しています。外国の軍隊が攻めてくるのを防ぐために、664年に造られました。水城跡の長さは約1.2km、幅は約80m、高さは約7mととても大きく、まるで山のようです。



水城跡土層

水城跡は、土を盛り上げてできていますが、その造り方は、粘土と砂をサンドイッチ状にして、棒でつきかためて造っています。また、地盤がゆるく悪いところには、木の枝や葉っぱを入れて地盤の強化を行っています。

水城跡の北側には、幅約60m・深さ約4mの外濠があり、そこに水をためていたことから「水城」と呼ばれました。水城跡の下には、木樋と呼ばれる水を流す



水城跡断面

ためのしかけがあり、内濠から外濠に水を流していました。木樋は大人がはって通れるくらい大きなものです。また、水城跡より規模

の小さな小水城と呼ばれる施設が、大野城市から春日市にかけても造られています。

【もっとくわしく調べたい】

○九州歴史資料館 小郡市三沢 5208-3 TEL 0942-75-9575

○水城館 太宰府市国分 2-17 TEL 092-555-8455

【水城跡に行ってみよう】

○JR水城駅から徒歩で約5分・西鉄下大利駅から徒歩で約10分